

串良

KUSHIRA

土着菌の足浴が完成

1月28日、串良町上小原の「わくわく運動公園」に、柳谷町内会が土着菌（酵母菌）を利用した手作りの足浴を完成させました。

足浴は土着菌で発酵した米ぬかを入れた大きな木箱に足を入れて温まろうというもの。米ぬかは50度前後で発酵するため、30分ほど足を入れておくと体中がほかほかと温まってくるそうです。

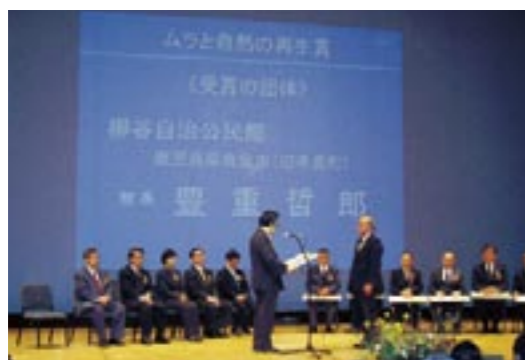
当日は、同町内会の住民35人が足浴を体験。「毎日でも利用したい」「体の芯から温まる」など、好評でした。なお、足浴は誰でも無料で利用できます。



自然環境の保全・再生に高い評価

串良町上小原の柳谷町内会（柳谷自治公民館）が、自然環境の保全・再生活動に熱心に取り組んでいる団体を表彰する平成17年度田園自然再生活動コンクールで、特別賞の「ムラと自然の再生賞」を受賞しました。

同町内会では、家畜糞尿の悪臭対策で生まれた土着菌の発酵堆肥を利用して生産したサツマイモを原料にして、焼酎「やねだん」を生産・販売。そして、その収益金を活用して独居老人宅への緊急通報装置の設置、集落全戸への煙感知器及び防犯ベルの設置推進など、地域への還元を実践していることなどが高く評価されました。



輝北

KIHOKU

合同七草祝いを開催

1月7日、輝北町の輝北コミュニティセンターで、新春恒例の合同七草祝いが開催されました。

これは、今年小学校へ入学する子供達の健やかな成長を願い行われているもので26人が参加。記念品の贈呈や、絵本の読み聞かせ等で子供達を祝いました。また、保護者を代表して岩野英昭さんが、「子供達を取り巻く環境は変わりつつありますが、これからは地域の皆さんで見守ってください」とお礼の言葉を述べました。



◎ 高尾校区



◎ 市成校区



◎ 百引校区



◎ 平南校区

③輝北町仮屋町内会の鬼火たき (仮屋町内会と子ども会共催)



子供達が、太鼓やかねをたたきながら、町内会の家々から集めた門松と大人が切り出したモウソウ竹がパーンと威勢よく弾けていました。また、おき火で焼いた餅と竹筒の焼酎は最高だったようです。

④郷之原町の鬼火たき (郷之原町親子会主催)



子供達と保護者が一緒になって、モウソウ竹をクレーン車で吊り上げて組み上げた高さ20mのやぐらに、今春、小学校に入学する子供達と今年厄年を迎える男女が火をつけると勢い良く炎が立ち上りました。

⑤吾平町鶴峰西地区の鬼火たき (鶴峰西地区育成会主催)



15年程前に育成会が復活させた鬼火たきです。子供達と保護者が一緒になって山から切り出したモウソウ竹で組み上げられた高さ18mのやぐらに、年男男女が点火し、今年一年の健康と安全を祈願しました。

鹿屋 吾平 輝北 串良

KANOYA AIRA KIHOKU KUSHIRA

鬼火たきで 今年一年の 無病息災を願う



①高隈中央町内会の鬼火たき (高隈中央地区子ども育成会主催)



子供達と保護者が一緒になって組み上げたやぐらに、町内の高齢者からももらった火を子供達が一齐につけると、赤々と燃え上がりました。そして、今年一年の無病息災を祈願しました。

②串良町岡崎の鬼火たき (岡崎下村づくり推進協議会主催)



当日切り出した2tトラック12台分のモウソウ竹だけで組み上げられたやぐらに、今年、厄年と七草を迎える3人が点火すると、高さ15mのやぐらはまたたくまに大きな炎に包まれました。

新春の夜空を焦がす鬼火たきが市内各地区で行われ、今年一年の無病息災などが祈願されました。鬼火たきは、モウソウ竹や間伐材で組み上げたやぐらを、正月を飾ったしめ縄、門松などと一緒に燃やす九州地方に伝わる伝統行事で、オンビダキ、オネッコ、オンビなども呼ばれています。竹の威勢よくはじけるパーン、パーンという大きな音が邪気を祓い、その炎に暖まれば一年を健康で過ごせると言われています。今年は、5つの地区の鬼火たきを紹介します。